

I 県の取組

(1) 推進協議会の概要

◆ 推進協議会委員 (敬称略・五十音順)

No.	氏名	所属等	No.	氏名	所属等
1	伊藤 照男	滋賀県CSアドバイザー	5	中村 敦夫	滋賀県立甲良養護学校 校長
2	上村 文子	滋賀県スクールソーシャルワーク スーパーバイザー	6	矢田 充宏	彦根市立鳥居本小学校 校長
3	木村 真由美	近江八幡市教育委員会事務局 生涯学習課 指導主事	7	山元 尚美	湖南市立石部南小学校 地域学校協働 活動推進員 学校運営協議会委員
4	武井 哲郎	立命館大学経済学部 准教授 滋賀県CSアドバイザー			

◆ 第1回推進協議会

1 協議会概要

期 日：令和4年6月6日（月）14:00～15:30

会 場：滋賀県庁北新館 5-F会議室

※会場参加およびオンライン参加による開催（下線の参加者は、Zoomによる参加）

出席者：伊藤座長、武井副座長、木村委員、中村委員、矢田委員、山元委員

事務局：県生涯学習課（8名）、高校教育課 杉原参事、幼小中教育課 畑主幹、特別支援教育課 左谷参事、子ども・青少年局 一戸主任主事

- (1) 開 会 県生涯学習課長 挨拶
- (2) 座長、副座長選出
- (3) 協 議
 - ①令和4年度「学校を核とした地域力強化プラン」について
 - ②今年度の力点について
 - ・「持続可能な地域連携の推進方策について」
 - ・「市町に対しての家庭教育支援に係るアプローチについて」



2 協議要旨

- ・ボランティアが高齢化している。辞められる方に次の方を紹介してもらうことで、持続可能な取組となる。
- ・まちづくり協議会の方や子育て支援団体の方などと連携がとれるとよい。
- ・関連する地域の組織と、福祉部局が行っている活動を、どうやって整理していくのが重要。
- ・チェックリストを使うなどして、導入して5年10年経った地域・学校では、どういう風に今やっている活動を整理して深めていけばよいか考えていくとよい。



- ・高等学校、特別支援学校にとっては地域は広い。子どもたちの生活とどう結び付けていくかが大切。
- ・何を最も大事にしたいのか地域の方と話し合いながら、焦点化をしていくことが大事。
- ・学校のことをまず知ってもらうという事が大事。子どもたちや、先生たちはどんな取組をしているかを知ってもらう。市町の教育委員会サイドのリーダーシップも非常に必要。
- ・家庭教育支援員が、CSの組織の一員となり、CSで熟議される内容の中に、不登校の課題等について共有が図られた事例がある。家庭教育支援とCSの相乗効果が期待できる。

◆第2回推進協議会

1 協議会概要

期 日：令和5年1月16日（月）14:30～16:00

会 場：滋賀県庁北新館 5-F会議室

※会場参加およびオンライン参加による開催（下線の参加者は、Zoomによる参加）

出席者：伊藤座長、上村委員、木村委員、中村委員、矢田委員、山元委員

事務局：県生涯学習課（8名）、高校教育課 杉原参事、特別支援教育課 左谷参事、子ども・青少年局 木津室長補佐 兼係長

- (1) 開 会 伊藤座長 挨拶
- (2) 報 告

令和4年度滋賀県各事業の取組と国の動向について

- ① 県実施事業について
- ② 各市町における地域学校協働活動の取組状況について
- ③ コミュニティ・スクール導入状況およびCSアドバイザー会議・派遣について
- ④ 県および市町における家庭教育支援の状況について
- ⑤ 情報提供（文部科学省「令和4年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況について」より）



- (3) 協 議

今後の地域と学校の連携・協働体制の推進の在り方について

テーマ：コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の充実に向けて必要なことは何か

第2回CSアドバイザー会議（令和4年12月6日開催）で出された課題

- ① CS導入にあたり、担当課がどこなのかがあいまいになっている。
（学校教育主管課と生涯学習・社会教育主管課との連携がとれていないことが多い。）
- ② 一般の教職員の理解が深まっていない。
（一般の教職員がCSについて知る機会が持っていない。）
- ③ 学校運営協議会の委員があて職になっていることにより、動きにくくなっている。

2 協議要旨

- ・生涯学習・社会教育主管課に教員籍がいることで、学校とも連携が取りやすい。校長会等に出て、本事業の趣旨や進捗状況の説明をしたり、学校教育主管課の職員にも働きかけたりしやすい。
- ・一般の教職員の理解が深いかというと、そうではない。県作成のCSリーフレットを年度初めの職員会議で配布して「本校はCS設置校である」という説明をしたり、年3回の学校運営協議会の後に打ち合わせで内容を伝えたりしている。とにかく職員にアナウンスをすることが大事。
- ・CSで育った子が増えていくことで、理解がさらに進んでいくだろう。
- ・子どもの姿が良くなっていくことでCSのメリットを感じることができる。



- ・学校運営協議会の委員をあて職ばかりで決めるのは改善すべき。子どもの姿を語れる人に学校運営協議会の委員になっていただくとよい。子どもたちもそこに携わることで委員もやりがいを感じ、動きが活発になっていく。
- ・つなぐことが得意な人、企画することが好きな人など、様々なタイプの人を委員にしていると強みを生かせるのでよい。
- ・広報誌、CSカレンダー、市作成のCSリーフレットなど、取組の見える化が大切である。